

19 東京都公立幼稚園 PTA 連絡協議会

行動計画記載の内容等
<p>人格形成の基礎を培う幼児期から、自他の生き方や個性を認め、差別しない心を育てる教育をめざし、都幼Pとして理事会や研修会を通して保護者が男女平等への意識を持ち、生活を見直していくように啓発していく。</p>
<p>1 家庭環境の工夫を促す</p> <p>幼児期に男女平等の意識の芽生えを培うために家庭環境の工夫を図る。</p> <ul style="list-style-type: none">・親が無意識に使ってしまう「～のくせに」、「～なんだから」という言動や思いこみを見直す。・男女の偏りが見られる遊びや遊具・友達関係に対して、その枠を取り払う努力をする。
<p>2 父親のPTA参加を促す</p> <p>保護者（PTA）として、母親・父親の枠を取り払う。</p> <ul style="list-style-type: none">・父親にも気軽に参加できる幼稚園PTAの行事を考える。・父親対象の子育て講座などを通し、子育ては母親だけではないことを意識し、理解できる機会をつくる。・母親の苦勞、父親の苦勞を分かち合える対話の場を設ける。
<p>3 子育て支援事業と健全な子どもの育成との関連を調べる</p> <p>公立幼稚園の預かり延長保育や行政が進めている幼保一元化等の子育て支援が、保護者の男女平等参画や子どもの成長にどれだけ影響があるか調査する。</p>

「男女平等参画のための東京都行動計画 平成 17 年度取組実績」

17 年度の具体的取組内容	実 績
<p>理事会、研修会をとおして、人権尊重の精神に基づき P T A 活動の推進と啓発をはかっている。</p>	<p>理事会では、ディスカッションの時間を多くとることができ、また、研修会は、多種多様な形態を企画した。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児を育てる家庭が孤立してしまわないように、園を中心として地域とのコミュニケーションをつなげられるように促したい。 ・ 世代の違いからくる男女の育て方の偏りをなくすように努力する。 	<p>園の行事、地域行事、それぞれに声をかけ、きっかけを大切にコミュニケーションをつないでいく意識が強くなってきている。</p>
<p>今年度も「父親の子育て」をメインにした研修会を企画。昨年から引き続き実施することで更なる意識の向上を計りたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 父親の子育て意識の向上 ディスカッションの時間をとり、同じ立場の男性同士共感し合う場ももてた。 <p>また、それを口に出すことで母親と意見を交換できることに気づいてもらう契機となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て研修会 平成 17 年 11 月 20 日開催 約 1100 人参加。 講師：植松 紀子（子どもの城クリニック 医師）
<p>各区行政の子育て支援事業を報告しあい、良い面、悪い面について調査研究する。</p>	<p>理事会において、各区を代表する保護者が自分たちの区の子育て支援事業を冷静に見ていることがよく分かった。</p> <p>引き続き理事会、研修会での時間を有効活用できるよう調査を継続中。</p>
<p><平成 15 年度より新規> 公立幼稚園の預かり延長保育や行政が進めている幼保一元化等の子育て支援と適正配置が保護者の男女平等参画にどれだけ影響があるか協議する。</p>	<p>幼保一元化等が進み、様々な子育て支援が打ち出されてきて保護者の具体的な感想や意見が出始めている。</p> <p>今年度は、それらを表に出して形にまとめられるよう進めていきたい。</p>